

プロネクサスベトナム現地レポート

(2023年2月 VOL.43)

プロネクサスベトナムが、2023年1月のベトナム現地情報をお伝えいたします。
今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。

【FDI 動向の概要（2023年1月1日～1月20日）】*1月の数値は20日時点の値

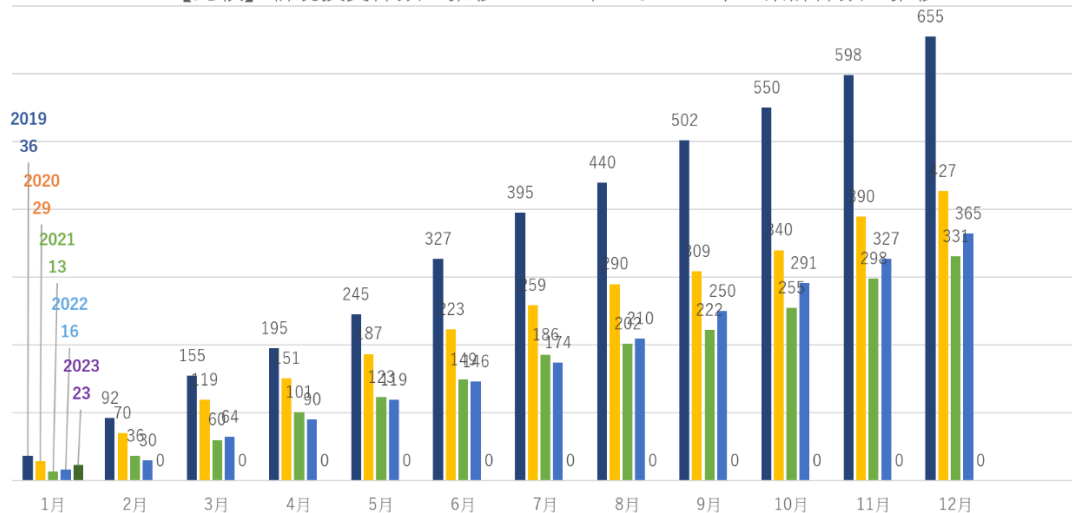
【1】日本の対越投資動向

- 日本の2023年1月1日から1月20日までのFDI投資額は、**約4200万USドル**（*2022年同期期間：約2億USドル、20.7%）
- 日本の2023年1月1日から1月20日までのFDI投資件数は、**45件**（*2022年同期期間：24件、187.5%）
- 証券投資件数を除いた日本の2023年1月1日から1月20日までのFDI投資件数は、**23件**（*2022年同期期間：16件、143.8%）

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。

【比較】新規投資件数の推移：2019年から2023年の累計件数の推移



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

世界の対越投資動向

2023年1月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、39の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約8.1億
2位	中国	約2.7億
3位	韓国	約1.5億
4位	台湾	約1.4億
5位	香港	約0.6億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	103
2位	シンガポール	57
3位	中国	54
4位	日本	45
5位	台湾	34

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2023年1月1日～1月20日）

<1月の投資状況>

2023年1月のベトナムに対する海外からの直接投資は、旧正月（1月中旬）の影響により、【払込資本金】が2022年の同時期と比較して16.3%減少しておりますが、海外からの【新規投資件数】ならびに【登録資本金】は、ともに大幅に増加いたしました。特に、新規登録された投資資本の総額は、前年同期の3.1倍以上に増加しており、新型コロナウイルスのパンデミックの影響による著しい減少期を脱し、増加傾向にあることが数値として顕著にあらわれてきております。

なお、2023年1月に申請された【登録資本金】の総額は、4,413.1億USドルであり、これに対して実際に払い込みされた【払込資本金】の総額は2,753.5億USドル（62.4%）になっております。

*申請時に登録を行う【登録資本金】全額を支払う必要はなく、実際に払い込まれた資本金を【払込資本金】として区別します。なお、【登録資本金】と【払込資本金】が一致している場合、親子ローンなどの借入を行うことができないため、投資を行う場合は注意が必要です。

外国からベトナムへの新規プロジェクトへの投資は153件（対前年比148.5%程度）、金額は12億USドル（対前年比310%）。同様に外国からベトナムへの既存プロジェクトに係る増資に関しては、89件行われ（対前年比125.4%程度）、金額は3.6億USドル（対前年比24.1%）に達しました。

<多くのベトナム企業が転職希望者を繋ぎ止めるために賃上げを計画>

人材サービス大手のナビゴスグループ(Navigos Group)が先般発表した 2023 年度給与調査レポートによると、労働者を繋ぎ止めるための給与アップの最も一般的な期待値は 10%であることが明らかになりました。

調査対象企業の多くは新型コロナ後の回復段階にあるため、大幅な昇給は難しいですが、企業の半数以上が、給与・手当・賞与制度を改善すると回答しました。企業各社はこのほか、柔軟な働き方や昇進の機会、テクノロジーの導入などで労働環境を整えるとしています。

労働者は労働環境や文化に関連する要素をより重視するようになりました。ほとんどの回答者は、労働環境、給与、企業文化の 3 つを現在の勤務先で働き続ける主な要因として選択しています。その他の要因としては、会社の評判、キャリアの機会、ビジネスの透明性、健康保険などが挙げられています。

なお、英系ロバート・ウォルターズ(Robert Walter)の 2023 年度給与調査レポートによると、調査対象企業の 88%が労働者に対する給与を引き上げると回答しています。ロバート・ウォルターズ・ベトナム (Robert Walters Vietnam)のフック・ファム社長は、**多くの企業が年内の賃上げに意欲的である主な理由として、生活費上昇による労働者への影響を企業が認識していること、企業にとって従業員を繋ぎ止める必要性が高まってきていることなどを述べました。**

昇給の可能性が最も高い分野は、購買調達・物流、テクノロジー・デジタルトランスフォーメーション (DX)などが挙げられています。一方、人員削減のリスクが最も高い分野は、法律、技術・製造、セールス・マーケティングなどです。

*引用元:

VnEconomy 「Employees expectant over pay rises in 2023」

<https://en.vneconomy.vn/employees-expectant-over-pay-rises-in-2023.htm> (参照 2023/1/22)

VIET JO 「多くの企業が賃上げを計画、転職希望者の繋ぎ止めで」

<https://www.viet-jo.com/news/economy/230130153100.html> (参照 2023/1/31)

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）2月の動向について】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。